

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2025年度	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	国際教養学科					
科目名称	プレゼンテーション概論					授業形態	講義			
科目コード	531130	単位数	2単位	配当学年	1	実務経験担当教員	○	Active・L	○	
担当教員名	柚木崎 千春							ICT活用		
授業概要	<p>プレゼンテーションの最大のポイントは、「相手と自分との心に共感が生じ、相互同調が発生すること」という考え方があります。それはコミュニケーションスキルに影響されるため、効果的なコミュニケーションとプレゼンテーションの関係について学びます。プレゼンテーションの成功は、「プレゼンテーション目的の明確化」から始まるので、社会人となる学生自らが、生活圏内にある身近な場面（具体例）を見つけ、コミュニケーションスキルとプレゼンテーションスキルの関係を理解します。企業における実務で、プレゼンテーションとコミュニケーション共に必須のスキルです。それぞれのスキル向上の必要性を具体的に示しながら理解を深める授業を目指します。授業の中で理解度を確認しながら、対話型の授業を行います。企業において秘書職の実務経験を有する教員が本授業を担当します。</p>									
関連する科目	プレゼンテーション演習									
授業の方法と進め方	<p>プレゼンテーションとは、デジタルのプレゼンテーションツールを用いて視覚効果を意識しながら発表することと認識している学生が少なくない。</p> <p>間違いではないが、本来プレゼンテーションとコミュニケーションは切り離すことはできないことを認識してもらいそこから授業が始まる。パソコンや携帯端末があれば情報収集から人間交流も簡単にできそうな時代である。さて、そのような時代だからこそ、人と人との意思の疎通、双方の通じ合い、つまりコミュニケーションが重要であると考え、コミュニケーション技法としてプレゼンテーションを捉え授業計画に沿って学びを進めていく。</p> <p>更に、グループワークにおいて意見交換をすることで、物事の捉え方・解釈の違いに気づくことを期待している。</p>									
第1回	オリエンテーション（授業の進め方、テキストの使用方法、評価方法、課題レポートについて）									
第2回	<p>プレゼンテーションとコミュニケーションについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの基本を知る ・コミュニケーションを振り返る 									
第3回	<p>コミュニケーションと話し上手について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し方と人間関係 ・あいさつの言葉遣い 									
第4回	<p>正しい日本語を身に付ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の日本語を考える ・正しい言葉遣い 									
第5回	<p>話すときの心構えを理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションとは ・聞き手を意識した心構え ・話す内容の作り方 									
第6回	<p>CM（コマーシャルメッセージ）とプレゼンテーションとの関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好きなCMと嫌いなCMを分析する ・情報の送り手と受け手の関係を考える 									
第7回	<p>効果的な話し方Ⅰ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効果的に話す「明確・整理・工夫」 									
第8回	<p>効果的な話し方Ⅱ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話の構成技術 									
第9回	<p>効果的な表現力を身に付ける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・態度面からの効果 ・目線・アイコンタクト 									
第10回	<p>聞くことの重要性について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションにとって「きくこと」とは ・「きく」ことの種類について 									
第11回	<p>ビジネスコミュニケーションとプレゼンテーションの関連性について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告、説得、商談・交渉、取材 ・ディベート、スピーチ ・面接とプレゼンテーション 									
第12回	<p>論理的思考の基礎Ⅰ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論理的思考と表現力の訓練 									

第13回	論理的思考の基礎Ⅱ ・おとぎ話を主観・客観的に分析してみる ・物事の解釈の違いを楽しむ
第14回	「コミュニケーション検定」を意識した理解度確認テスト ・解答例と解説 ・振り返りをし理解する
第15回	様々なコミュニケーション場面（総合演習） ・コミュニケーションスキルとプレゼンテーションスキルの関係・効用を理解する ・理解した内容を確認し具体例を示すことができる
授業の達成目標	① 本授業の学習を通じて、日常生活の中にあるコミュニケーション場面を意識する。 ② 対人コミュニケーションの重要性について理解を深めることができる。 ③ 効果的なプレゼンテーションにはコミュニケーションスキルの高さが求められることを理解し自ら考え表現できる。 【学力＝知識・理解＋汎用的技能＋態度・志向性】
学修成果との関連	3.現代社会に関する基本的知識を有する。
授業時間外学習【予習】	【予習】（1時間程度） 予習は毎回の授業で予告されるテーマや課題について、事前準備をする。 授業で学習したことを復習し応用することが次回の授業に繋がるので、そのための時間を確保することが望ましい。
授業時間外学習【復習】	【復習】（1時間程度） 授業で学習したことを復習し応用することが次回の授業に繋がるので、そのための時間を確保することが望ましい。
課題に対するフィードバック	・提出されたレポートの評価と必要に応じて課題の情報共有と振り返りを授業中に実施します。
評価方法・基準	定期試験（40点） 課題提出（40点） 授業への取り組み（20点）
テキスト	『コミュニケーション技法』プレゼンテーション学研究会編集（株）ウイネット（最新版）
参考書	必要に応じて図書、資料を紹介します。
備考	・「コミュニケーション検定」受験希望者は担当教員に照会のこと。